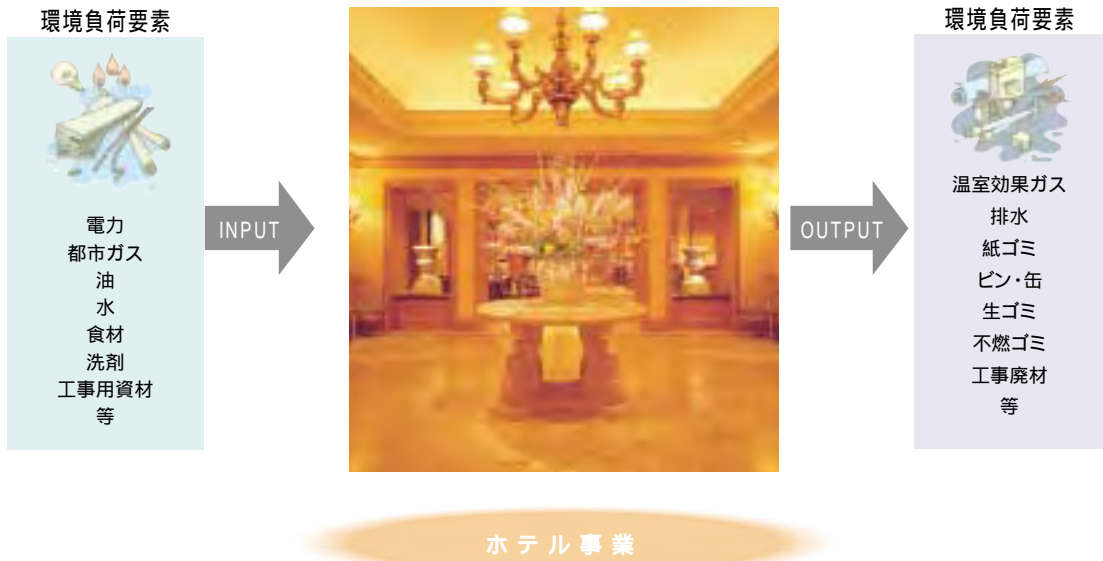


ホテル事業

三菱地所グループでは、東京・横浜・仙台など国内9カ所(2003年7月にオープンした「ロイヤルパーク汐留タワー」を含む)でホテルチェーン「ロイヤルパークホテルズ」を展開しています。ホテル運営においてもエネルギー使用や廃棄物の排出などさまざまな環境負荷が発生します。各ホテルにおいてはこれら環境負荷を低減する取り組みを行っています。



ホテル事業活動の環境への影響



ISO14001の認証取得に向けて

現在(株)ロイヤルパークホテル及び統括会社である(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツにおいて、2003年度中の認証取得をめざして取り組みを進めています。今後は他のチェーンホテルにおいても取り組みを進める予定です。

仙台ロイヤルパークホテルで「地下水膜濾過システム」を導入

三菱地所が所有し、(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツの100%子会社の(株)東北ロイヤルパークホテルが運営する仙台ロイヤルパークホテルでは、敷地内に深井戸(地下250m)を掘り、濾過設備で水質を確保した上で受水

槽に給水し、市水と混合する「地下水膜濾過システム」の運用を2003年5月より開始しました。

このシステムは良質で安定的な水資源の確保と災害時のライフラインの確保等の観点から導入したものです。

